

平成 27 年 11 月(第 8 回)理事会概要

- ◇ 伝達 ウッドバッジ実修所ベンチャースカウト課程修了 中村 光伸(習志野 2)
- ◇ 報告 研修所開催報告 ウッドバッジ研修所カブスカウト課程千葉第 82 期 野中所長
ウッドバッジ研修所ベンチャースカウト課程千葉第 18 期 越森所長
団委員研修所千葉第 25 期 片平所長
- ◇ 慶事 社会教育功労者表彰(文部科学大臣表彰) 県連盟参与 森屋 啓
千葉県教育功労者表彰 県連盟副理事長 増田 秀夫
スカウティング褒章 県連盟理事長 佐藤 一石
県連盟副理事長 増田 秀夫

I. 審議事項(承認事項)

1. 10 月企画会議後スカウト章認証として、菊 章:相澤 吉崇(柏 10)が承認された。
2. 技能章考査員として 2 人が追加承認された。
 - ・板垣 弘希(千葉 1):野営章、野営管理章、救急章、炊事章
 - ・四ノ宮 直人(千葉 6) 救急章
3. ボーイスカウト看護法講習会指導員に黒多すみ子(栄 1)の委嘱が承認された。
4. 第 12 回日本アグーナリー千葉県連盟実行委員に河辺 尚孝(柏 7)が推薦され、承認された。
5. 平成 28 年度ウッドバッジ研修所及び団委員研修所の開設日程について以下の通りとする。

(1)ビーバースカウト課程千葉第 31 期	平成 28 年 10 月 7 日～10 日	香取神宮
(2)カブスカウト課程千葉第 83 期	平成 28 年 4 月 30 日～5 月 3 日	未定
(3)ボーイスカウト課程千葉第 79 期	平成 28 年 5 月 4 日～7 日	未定
(4)ベンチャースカウト課程千葉第 19 期	平成 28 年 4 月 30 日～5 月 3 日	香取神宮
(5)団委員研修所第 26 期	平成 28 年 11 月 4 日～6 日	東金青年の家
6. 千葉地区コミッショナーとして、亀谷新一から近藤曠史に交代することが承認された。併せて、千葉地区副コミッショナーとして、亀谷新一、紺野敏雄が承認された。
- 71)「第 20 回記念千葉県キャンポリー実施要領(第 1 版)」が承認された。なお、行政との関係から「実施要項」は 4 月に発行の予定。
 - ・開催期間:平成 28 年 8 月 9 日～14 日(5 泊 6 日)
 - ・開催場所:千葉県富津市新富 株式会社荏原制作所社有地(前回大会の野营地)他
 - ・実行委員会組織図:実行委員長、副実行委員長の下に、運営チームとタスクチームを置く。
 - ・運営チーム:総務部、プログラム部、安全・救護部、施設管理部、食糧部の 5 部。
 - ・地区内でも地区委員長から説明頂き、信頼関係構築と情報の共有化を図る。また、保護者へも情報伝達と理解、参加協力を願いたい。
- 2)「隊長の手引き」、「見てすぐわかる班長の手引き」:県連盟HPからダウンロードできる。
 - ・狙いは(1)標準隊での活動を楽しんでもらう、(2)プログラムプロセスにおける隊長の対応を明記し、「見てすぐわかる班長の手引き」は A5 版のノートタイプで作り、常に見ながら活動してもらう。
- 3)大会キャップ、肩章(班長章、次長章)の作成、参加章(ワッペン)募集など準備中。
8. 中期事業計画評価と再構築を実施し、本計画を推進させるため、中期事業計画推進本部を設置する。
 - ・組織:本部長(理事長)、副本部長(副理事長)、企画会議メンバーとオブザーバー若干名。

II. 報告事項

1. 平成 27 年 10 月末登録状況
 - ・27/10 末 6,903 人/110 団 前年同月比 -369 人、前年度末比 -631 人
 - ・追加登録の無い団が半数あり、ビーバーの人数減少が著しい。
2. 各種委員会報告
 - 1)10 月企画会議承認済みスカウト章認証紹介
 - ・菊 章:樋口 信耀(市原 3)、高橋 龍平(成田 1)、石井 龍之介(船橋 3)、水村 辰浩(船橋 3)
 - ・隼 章:中村 和奏(柏 1)
 - 2)国際委員会
 - (1)各地区で熱の冷めない内に、感想報告会を開催し 23WSJ ホームステイのフォロー中。
 - (2)平成 27 年度日韓スカウト交歓計画への協力依頼が日本連盟よりあった。
 - ・成田空港での韓国派遣団到着時の出迎え:2 人、平成 28 年 1 月 7 日 10:00～18:00、マロウドインターナショナルホテル成田への移動案内、スカウトの生活支援。

- ・事業開会式:1月7日 18:00～19:00 マロウドインターナショナルホテル成田、県連盟から 理事長、コミッショナー、事務局長 出席
- ・交流プログラムのユース年代奉仕者の推薦:5人程度 1月9日～11日 マロウドインターナショナルホテル成田、全体生活、プログラム、セレモニーなどに対応及び日本スカウトの生活にかかる業務。
- ・韓国スカウトのホームステイ受け入れ:1月15日～17日(2泊3日)、スカウト36人 指導者4人 合計40人。韓国側の名簿は12/20頃にならないと入手できないが、近々全地区に受入依頼をする。

3)スカウト拡充委員会

- ・児童数に対してBVS・CS登録率は県連盟全体で0.5%、一番高い地区は香東地区で1.08%、他地区は0.35～0.61%である。

4)青年代表理事

(1)平成27年度千葉県ローバーフォーラム報告

- ・平成27年9月26日～27日 富津第1団野営場 ・6地区より15人参加
- ・テーマ:「Binding many dots～個々をつなぎ、その先にできること～」
サブテーマ:ローバーリングの可能性に気付く
- ・評価反省:準備段階での協力体制が不十分であったが、各自のローバーリングの目標を再確認し、取り組むべき目標が明確になった。

5)23WSJ 実行委員会

- ・決算見込みで残金が80～100万円くらいになりそう。扱いについては検討する。
- ・報告書の印刷準備中。協賛金協力者、ライオンズ・ローター・商工会へも配布する。また、スカウティング誌23WSJ特集号(200円)を協力頂いた方に渡す。・年内に会計報告し実行委員会を解散する。

3. 県連盟コミッショナー報告

1)第2回全国県連盟コミッショナー会議報告

- ・平成27年10月17日～18日 国立オリンピック記念青少年総合センター
- ・日本連盟伝達事項:安全委員会、会員拡充委員会、信仰奨励委員会、第12回日本アグリーナリー実行委員会、プログラム委員会、指導者養成委員会、セーフ・フロム・ハームの事項の進捗状況の説明がされた。
- ・長中期計画答申:「活動的で自立したスカウトを育てることを目指して～日本連盟100周年を目指した長中期計画(答申案)」が示され、県連盟としての意見を出して欲しいとされた。他

2)ビーバースカウトの加盟登録事前予約申請について

- ・年長組の登録は1月1日より可能だが、日本連盟の登録事務が休みとなるので、12月25日までに事前登録申請すると、1月1日付で受理される。
- ・各団へ鏡文を付けて日本連盟の発信文書を配信する。

以上